

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社共同紙販ホールディングス  
 コード番号 9849 URL <http://www.kyodopaper.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡司 勝美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理企画本部長 (氏名) 尾形 寛雄  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 JQ

TEL 03-5548-7521

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	18,432	—	184	—	144	—	32	—
20年3月期第3四半期	7,997	9.0	43	59.7	26	△69.7	△88	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	4.92	—
20年3月期第3四半期	△18.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第3四半期	13,019	23.2	3,016	23.2	23.2	454.15	23.2	
20年3月期	8,167	27.1	2,214	27.1	27.1	469.22	27.1	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,016百万円 20年3月期 2,214百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	24,000	127.9	170	299.8	100	441.1	△90	—	△13.55	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 3社(社名 河内屋紙(株)、はが紙販(株)、ファイビストオ ) 除外 1社(社名 (株)フォーレストエイト )  
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(1)をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 7,353,443株	20年3月期 5,427,483株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 710,550株	20年3月期 708,598株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 6,643,824株	20年3月期第3四半期 4,831,835株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、1株当たり当期純利益につきましては、平成20年4月1日付の合併に伴い増加した1,925,960株を加味して算出してあります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 平成20年5月15日に公表いたしました配当予想につきましては、平成21年2月10日公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」にて、期末の配当予想を修正しております。

3. 平成20年11月6日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成21年2月10日公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」にて、通期の業績予想を修正しております。

4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、本年4月1日に(旧)河内屋紙株式会社と(旧)はが紙販株式会社との経営統合を行い、当社を中心に販売子会社の(新)河内屋紙株式会社および(新)はが紙販株式会社と、物流子会社の関東流通株式会社を中核とするグループ体制で事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)の売上高の概況につきましては、夏場までの概ね堅調な需要に対し、その後の需要減退、特に秋口からの世界的な景気減速により紙需要は大きく減退しました結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は18,432百万円となりました。

一方、コスト面につきましては当第3四半期連結累計期間の初期に経営統合に伴う一時的諸費用の発生がありました。期間を通してコスト削減に努めました結果、以上の売上高とコストの状況から連結営業利益は184百万円、連結経常利益は144百万円となりました。また、連結四半期純利益は貸倒引当金戻入額等の計上がありました。株式相場下落に伴う投資有価証券評価損等を計上したため32百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産の残高は、13,019百万円(前連結会計年度末8,167百万円)となり4,852百万円増加いたしました。

負債の残高は、10,002百万円(前連結会計年度末5,953百万円)となり4,049百万円増加いたしました。

純資産の残高は、3,016百万円(前連結会計年度末2,214百万円)となり802百万円増加いたしました。

資産、負債及び純資産の増加した主な要因は、本年4月1日に旧はが紙販株式会社との経営統合により同社の資産・負債を受け入れたためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月6日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

第1四半期連結会計期間から、新たに設立した河内屋紙株式会社及びはが紙販株式会社並びに被合併会社の子会社であるファイビストオフィス株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、前連結会計年度まで連結の範囲に含めておりました株式会社フォーレストエイトについては第1四半期連結会計期間において清算手続を開始した為連結の範囲から除いております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定科目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 第1四半期連結会計期間よりたな卸資産の評価方法を移動平均法から先入先出法に変更しております。

この変更は、新しい在庫評価システムの導入を契機に仕入価格の変動をより適時に在庫評価に反映させるため、また、仕入割戻を当期の仕入高に対応させて各期の仕入単価を把握し、適切な原価管理を行うためであります。

この結果、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,180千円増加しております。

③ 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,016,300	622,487
受取手形及び売掛金	4,709,307	2,514,688
商品	1,284,770	954,978
未収入金	836,522	276,839
その他	65,484	48,283
貸倒引当金	△34,923	△98,262
流動資産合計	7,877,462	4,319,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,605,242	2,557,127
減価償却累計額	△1,131,908	△1,071,606
建物及び構築物(純額)	1,473,333	1,485,521
機械装置及び運搬具	300,797	276,907
減価償却累計額	△249,098	△227,567
機械装置及び運搬具(純額)	51,698	49,340
土地	1,614,678	1,532,447
その他	117,857	62,178
減価償却累計額	△83,592	△55,551
その他(純額)	34,264	6,627
有形固定資産合計	3,173,975	3,073,935
無形固定資産		
のれん	770,917	—
その他	94,859	30,189
無形固定資産合計	865,776	30,189
投資その他の資産		
投資有価証券	574,180	484,409
出資金	218,851	2,310
その他	303,749	249,460
投資その他の資産合計	1,096,781	736,180
固定資産合計	5,136,533	3,840,304
繰延資産		
社債発行費	5,689	8,130
繰延資産合計	5,689	8,130
資産合計	13,019,686	8,167,450

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,585,346	3,047,487
短期借入金	1,700,000	1,650,000
1年内償還予定の社債	500,000	—
賞与引当金	39,585	10,838
その他	263,837	88,115
流動負債合計	9,088,769	4,796,441
固定負債		
社債	500,000	1,000,000
退職給付引当金	390,657	142,403
その他	23,409	14,400
固定負債合計	914,066	1,156,803
負債合計	10,002,835	5,953,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,381,052	2,381,052
資本剰余金	928,340	740,757
利益剰余金	34,223	△522,835
自己株式	△258,030	△257,365
株主資本合計	3,085,585	2,341,608
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△61,280	△127,402
為替換算調整勘定	△7,454	—
評価・換算差額等合計	△68,734	△127,402
純資産合計	3,016,850	2,214,206
負債純資産合計	13,019,686	8,167,450

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	18,432,378
売上原価	16,117,978
売上総利益	2,314,399
販売費及び一般管理費	
役員報酬及び給料手当	877,126
賞与引当金繰入額	35,202
退職給付費用	79,709
減価償却費	95,698
その他	1,042,545
販売費及び一般管理費合計	2,130,282
営業利益	184,116
営業外収益	
受取利息	4,061
受取配当金	30,015
設備賃貸料	8,283
その他	7,770
営業外収益合計	50,130
営業外費用	
支払利息	34,497
手形売却損	29,337
支払手数料	16,503
その他	9,592
営業外費用合計	89,930
経常利益	144,316
特別利益	
投資有価証券売却益	3,960
貸倒引当金戻入額	69,914
特別利益合計	73,874
特別損失	
固定資産除却損	667
投資有価証券評価損	156,661
事務所移転費用	20,246
特別損失合計	177,575
税金等調整前四半期純利益	40,615
法人税、住民税及び事業税	7,953
四半期純利益	32,662

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成20年4月1日期日で旧はが紙販株式会社より商号変更した株式会社はが紙販ホールディングスを吸収合併いたしました。これに伴い株式会社はが紙販ホールディングスの普通株式1株に対し当社の普通株式0.541株の割合をもって割当交付いたしました結果、当社株主資本はその評価額708,753千円増加いたしました。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	7,997,176
II 売上原価	7,219,559
売上総利益	777,616
III 販売費及び一般管理費	734,035
営業利益	43,580
IV 営業外収益	
受取利息	6,900
受取配当金	16,784
その他	10,189
営業外収益合計	33,874
V 営業外費用	
支払利息	31,946
手形売却損	9,152
その他	9,584
営業外費用合計	50,683
経常利益	26,771
VI 特別利益	
投資有価証券売却益	36,004
貸倒引当金戻入額	10,307
特別利益合計	46,312
VII 特別損失	
投資有価証券評価損	300
貸倒引当金繰入額	158,151
特別損失合計	158,451
税金等調整前四半期純利益	△85,367
法人税、住民税及び事業税	2,812
四半期純利益	△88,180